



◆練習スケジュール◆

月 / 日		会 場	時 間	備 考	
6月	18日(土)	旭丘公民館	19:00~21:00	18:00~ 女声 V.T.	
	26日(日)	//	//		
7月	2日(土)	瀬戸市文化センター	18:30~21:00	オケ合わせ	
	9日(土)	中央公民館(306 音楽室)	19:00~21:00		
	16日(土)	旭丘公民館	//		
	23日(土)	//	//		
	30日(土)	瀬戸市文化センター	18:30~21:00	オケ合わせ ソリストが参加します	
	31日(日)	旭丘公民館	14:00~17:00	特練	
8月	6日(土)	//	19:00~21:00		
	7日(日)	//	14:00~17:00	特練	
	13日(土)	夏季休暇 (お盆休み)			
	21日(日)	旭丘公民館	19:00~21:00	ソリストが参加します	
	27日(土)	//	19:00~21:00		
9月	3日(土)	瀬戸市文化センター	リハーサル (瀬戸合唱フェスティバル) ※練習スケジュールは後日お知らせします。		
	4日(日)	瀬戸合唱フェスティバル	※詳細は決まり次第お知らせいたします。		
	10日(土)	尾張旭市文化会館ホール	18:30~21:00	オケ合わせ	
	11日(日)	旭丘公民館	18:00~20:00	特練	
	17日(土)	瀬戸市文化センター	16:00~	リハーサル	
	18日(日)	★創立30周年記念 第10回演奏会★			
	25日(日)	旭丘公民館	19:00~21:00		

(注) 備考欄 P 練習=パート練習 V.T.=ヴォイストレーニング 特練=特別練習 です。



今日のぼやき

合唱祭も終わり、演奏会に向けて、オケ合わせ、特練と今までと違う状況での練習が増える(あがり症の私は考えるだけで緊張してしまうが...)。特に、今までの演奏会と違い、事前に何度もホールでの練習がある。

そこで、心からのお願いです。今までの練習会場のように指揮者のうしろが壁ではなく、客席を意識してほしい。大きな空間を感じてほしい。そのために、歌う前に舞台の上から客席をみてほしい。ただ見下ろすのではなく、ホールの天井から客席をみてほしい。また口から音を出すのではなく、頭から音を出すように意識してほしい。そのためには暗譜、暗譜をお願いいたします(まずはシューベルト、次に...)。暗譜といっても、ただ音程、歌詞を覚えるだけでなく、強弱、要求される表現、etc...を覚えてほしい。そうすれば、創立30周年の言葉にふさわしい演奏がきっとできると思う。(ボソボソ)

まさよ

◎今月の目標 「シューベルト、ラシーヌの雅歌 完全暗譜!!」

7月2日のオケ合わせには、暗譜でのぞめるようがんばりましょう!! 漠然と覚えるのではなく、フレーズやパーツに分けて、ひとつのフレーズ、パーツを覚え、それをつなげてみてください。

●演奏会実行委員会より●

記念ステージ(▽▽)

創立30周年記念ステージになる第3ステージの進行原稿を、S藤田みさんをお願いしたら、快く引き受けてくださり、ただ今作成中です。各曲に語り有り、団員の動き有り(ダンスではないのでご安心を!)のステキなステージになる予定です。今後、曲のほかに動きの練習も入ってきますが、皆さんよろしく願いいたします。

あと3ヶ月(-_-;)

9月18日の演奏会本番まで残すところあと3ヶ月になりました。早いですね~(*_*) 前日のリハーサルは16時頃から、オケ合わせは19時半頃から始まり、21時近くに終了の予定です。リハーサル前には本番の用意もしなければなりませんから、午後からは空けておいていただけると助かります。各自、夕食も必要です。タイムテーブルはまた後日お配りしますが、何となくイメージして、体力づくりをしておいてください。

★演奏会当日のロビーに「熊本震災支援募金箱」を設置することになりました。





第 55 回愛知県合唱祭に参加して

Bass : 松本

「若者の合唱離れ」と言われてもう久しいのに、この祭典に参加してみると、少し違った意味合いを感じるのが例年のこととなった。まず 55 年間にも亘って続けられて来たエネルギーの大きさと、平和な日本についてである。この 2 日間で愛知県内の 146 団体、約 4,000 人の合唱人が一堂に会し、精いっぱいのパフォーマンスで交流を繰り広げる。ひと昔まえの「メロディー、リズム、ハーモニー」を揃えたような音楽ではなく、夫々の生活実感や思いのこもった演奏は、聞き手に迫ってくるものがあった。

我々の出番の H グループで見ても「あけぼの合唱団」の方々のハンディーを乗り越えた「川」には人間の魂のうめきを聴いたし、「合唱団花集庵」のジョイフル・ジョイフルには若者のビートの効いたノリがあり、「VoxMEA」のおもちゃのチャチャチャにはしなやかな現代の青年のお洒落な一面を、「グランフォニック」のオジサン方のスイング・ダウンシャリオには晩年青年のストレスが咆えていた。「豊田少年少女合唱団」では無垢で清らかな少年少女の姿を確認し、「名古屋グリークラブ」の蔵王讃歌には人生の渋みを感じさせていただいた。人間にとって歌うこととは「魂の表現であり、合唱とは友人との絆そのものである」、「合唱離れ」などではなく、小学生の少女から 70 過ぎのシルバーエイジまでの幅広い層の参加と、音楽的にも技術的にも一段と純化、深化している過程ではないかと感じた一日だった。

ところで私達の「ラシーヌ雅歌」の祈りは会場にどう響いたのか、音源を聴けるのを楽しみにしています。

★今回、旭混声合唱団は「10年連続出場団体」として愛知県合唱連盟から表彰、記念品(商品券 5,000 円分)を贈呈されました(拍手！)。

【演奏曲の理解を深めるために】

『初心のうた』 ～「IV. でなおすうた」作曲に使われた詩について～

◆作曲者によれば「ふしぎなともだち／理論社／1975 年(現代少年詩プレゼント)」から選んだとのことですが、実は、1953 年に出版された『木島始詩集(創刊)』にその原型が掲載されています。木島さんの最初の詩集であると同時に出世作でもある、大変評判になった詩集でした。この詩集には「詩・わが年代記」と題された 7 つの連作詩が収録されており、各詩のタイトルは次の通りです。 ※「木島始詩集(復刻版)」が 2015 年 7 月に初版発行されました。

詩・わが年代記

起点－1945 年－
戦後－1946 年－
師よ－1947 年・中井正一氏に－
大学－1947・8 年－
徴候－1950 年－
嘔吐
虐殺－1950 年－

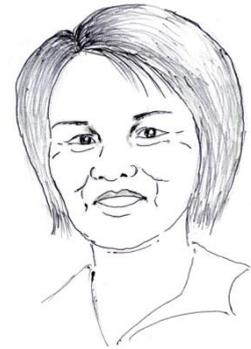
このうち「大学-1947・8 年-」が「でなおすうた」の原型となった詩です。(以下に全文を紹介します)

あるものは野戦の地から／わたしたちは帰還した／学問△
／教場△／ノート△／ あるものは被爆の地から／わたした
ちは帰還した／研究所△／統計図表△／フラスコ△／ ある
ものは疎開の地から／わたしたちは帰還した／下宿△／友の
書棚△／握手△／と／ 死から生△／銃把から／ペン軸△／
冬から／春△／ 長かった凍結地から／芽生えふく風△／
軍靴の駈足から／無理強いされた拳手の札から／そのまった

くの無我夢中から／ 尊敬の微笑み△／知識のよろこばしい収得△／そしてふたりの愛のむつまじさ△／ と……／ 私たちは帰還した。(※“はずだった”は記述なし。下線が改訂された。) 木島さんがこの詩を 1970 年代に「でなおすうた」としてリライトした際、20 年の歳月と社会情勢の変化(平和への危惧)、読者層を念頭に置いて、「はずだった」の言葉を補ったのではないかと思います。※参照:「木島始詩集(復刻版)」、「ふしぎなともだち」及び Web 資料から (Ten.酒井)



★突撃いんたびゅー★



画：A 松本恵さん

4月に入団されました。

ソプラノ ^{きひら} 紀平 みい子 さん です。

ヒマワリのように明るい紀平さんに いんたびゅー★★

♪ 自己紹介をお願いします

4月から仲間に入れて頂いた紀平です。
元気だけが取り柄です。

♪ 合唱との出会いは？

少女時代から歌を口ずさみながら日々過ごしていた記憶があります。
本格的に頑張ったのは、中学3年間だけです。

♪ 旭混声への入団のきっかけは？

瀬戸（我が家）から近い所に練習場所があり、1週間に1回 練習日が土曜日である事。

♪ 合唱以外の趣味・続けていることなどありましたら

カーブス（女性だけの30分ジム）、旅行、絵画（絵手紙）も挑戦したいと考えています。

♪ 団の皆さんへひとことお願いし

合唱から、あまりにも年月が経過してしまいました。
ボイストレーニングのご指導を宜しくお願い致します。

団に新しい風が吹きそうな予感…。

一緒に演奏会に臨めるようみんなで応援しましょ〜♪

ふ



★ ホームページ 便りです。

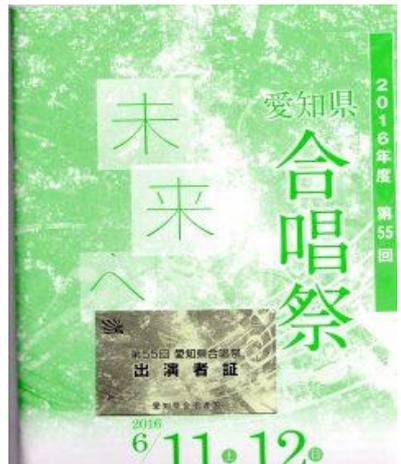
“旭混声合唱団「楽楽ブログ」参照”

県の合唱祭が終わりました。

個人的な感想ですが、本番は魔物ですねー。いい面と悪い面が見事に出て、全体としてはきれいな歌だったといわれながらも、一番聞いている人に印象的なアインザツガーー！！

一番目立つベースだけではなくみんな多かれ少なかれそうでしたね。先生の指揮を見て指揮に合わせて声を出したつもりが、すんらりでないか違う音になってしまったか、むつかしいですね。

いつもの練習で先生の指揮に合わせて声を出す練習をしているはずなのにー！いつでもそうだけどやり直せばできるんですよね。いつもの練習で一回で声を出せるようできるように練習しましょう。



情報募集中。ご協力をお願いします。

ホームページを見て、ご自分の持っている情報で公表したい物を連絡下さい。データなら嬉しいし、写真等の現物は酒井敏行さんをお願いします。

団員のページに飛ぶパスワードは ohana です。

=====tasaka-u1@na.commufa.jp===== (なお、途中の 1 は数字のイチです)



♪ コンサート情報 ♪

女声合唱 コール・ネージュ第6回演奏会

- ◆6月25日(土) 14時15分開場 14時45分開演
- ◆長久手市文化の家 森のホール
- ◆演奏曲 I.女声合唱組曲「ひたすらな道」 II.「いのちの歌」「糸」他
III.テノール独唱 IV.女声のための合唱組曲「キュージーヌ」
(招待券2人分あり 若杉まで)

混声合唱団 siolin 演奏会

- ◆7月10日(日) 14時20分開場 15時開演
- ◆日本特殊陶業市民会館 ビレッジホール
- ◆演奏曲 I.混声合唱曲「永訣の朝」 II.黒人霊歌
III.NHK 全国学校音楽コンクール課題曲から
「海はなかった」「ひとつの朝」「冬・風蓮湖」「聞こえる」「ありがとう」
- ◆チケット 一般1000円 高校生以下 無料
(招待券5人分あり 若杉まで)

座うたざ公演 オペラ「森は生きている」

原作：サムイル・マルシャーク(湯浅芳子訳による)

台本・作曲：林光

演出：平塚直隆

音楽監修：大石哲史

歌唱指導：毛利和雄、毛利美奈子、池田美子

- ◆7月16日(土) 17:00～ (いずれの日程も、開場は開演の30分前です)
- ◆7月17日(日) 12:00～ 17:00～
- ◆7月18日(月・祝) 13:00～
- ◆会場：名古屋市千種文化小劇場
- ◆チケット(日時指定・自由席) 一般当日：3000円 一般前売：2900円
小中高生 当日・前売:2000円

◎毛利美奈子先生が、チラシ上では、海田美奈子(旧姓)さんとして出演されます。

合唱団まい 第18回演奏会 IN 浜松

1st ルネサンス・バロックステージ

タリス「エレミアの哀歌」より ビクトリア「レクイエム」より 他

2nd 邦人作品ステージ

三善晃 「五つの童画」より 「やじろべえ」

高田三郎 「わたしの願い」より 「雲雀にかわれ」 他

3rd ドイツ ロマン派ステージ

ブルックナー「キリストはおのれを低くして」 ブラームス「愛の歌」「新・愛の歌」

- ◆音楽監督 雨森 文也 ◆ピアノ 平林 知子
- ◆日時 平成28年7月31日(日) 開場：午後2時 開演：午後2時30分
- ◆会場 浜松市福祉交流センターホール
- ◆入場料 一般1,500円、大学生以下800円(全自由席)